

東京ガス株式会社

2005年度第1四半期決算説明会

2005年7月28日

このプレゼンテーションに掲載されている東京ガスの現在の計画、見通し、戦略、その他の歴史的事実でないものは、将来の業績に関する見通しであり、これらは現在入手可能な情報から得られた東京ガスの経営者の判断に基づいております。実際の業績は、さまざまな重要な要素により、これら業績見通しとは大きく異なる結果となりうることをご承知おきください。実際の業績に影響を与えうる重要な要素には、日本経済の動向、急激な為替相場、原油価格の変動ならびに天候の異変等があります。

対前第1四半期比 増収減益

< プラス要因 >

- ・ 気温が低く推移したため家庭用ガス販売量は増加
- ・ 工業用ガス販売量は、新規需要開発および既存物件の稼動増により増加
- ・ 卸供給は引取量増により増加

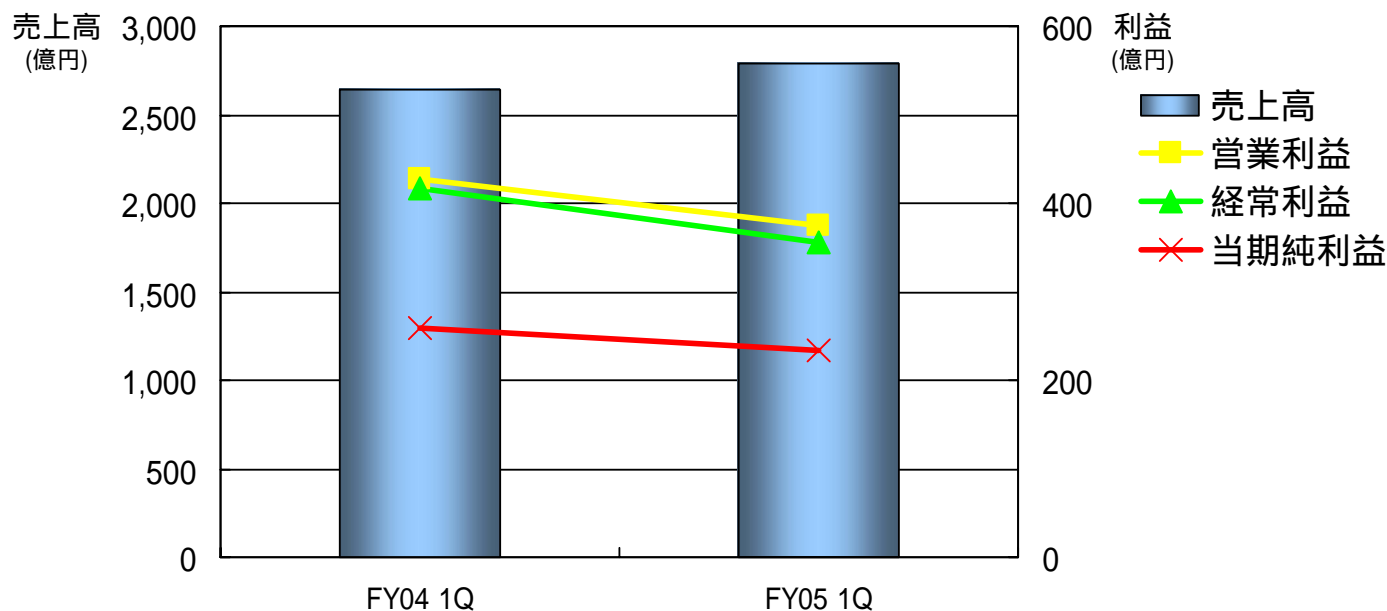
< マイナス要因 >

- ・ 原油価格の高騰による原材料費の増加
- ・ 料金引下げによる売上単価の減

決算総括 (対前第1四半期)

(億円未満切捨て)

	FY04 1Q	FY05 1Q	増減
売上高	2,645	2,785	+140(+5.3%)
営業利益	428	374	-54(-12.5%)
経常利益	417	356	-61(-14.6%)
第1四半期純利益	259	233	-26(-9.8%)

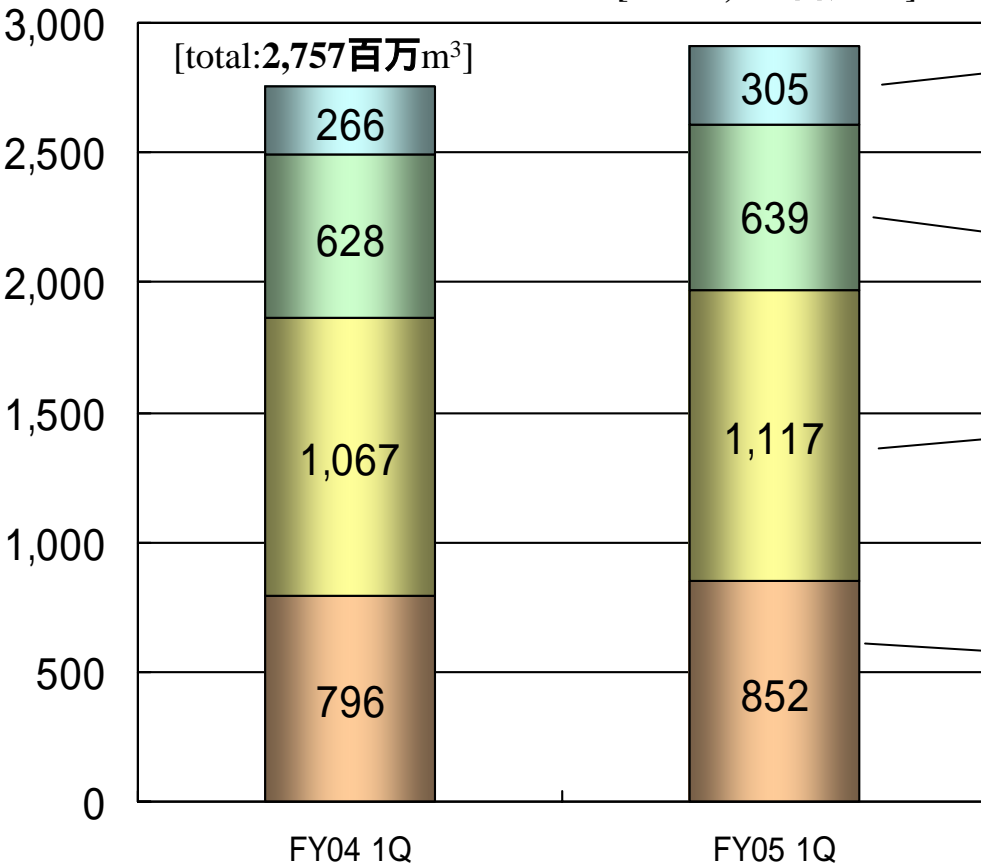


ガス販売量実績 (対前第1四半期)

前第1四半期比5.7%増
(1億57百万m³)

百万m³ [total:2,914百万m³]

< FY04 1Q FY05 1Q 増減要因 >



卸供給 + 14.5% (+39百万m³)
・供給先事業者の引取量増加

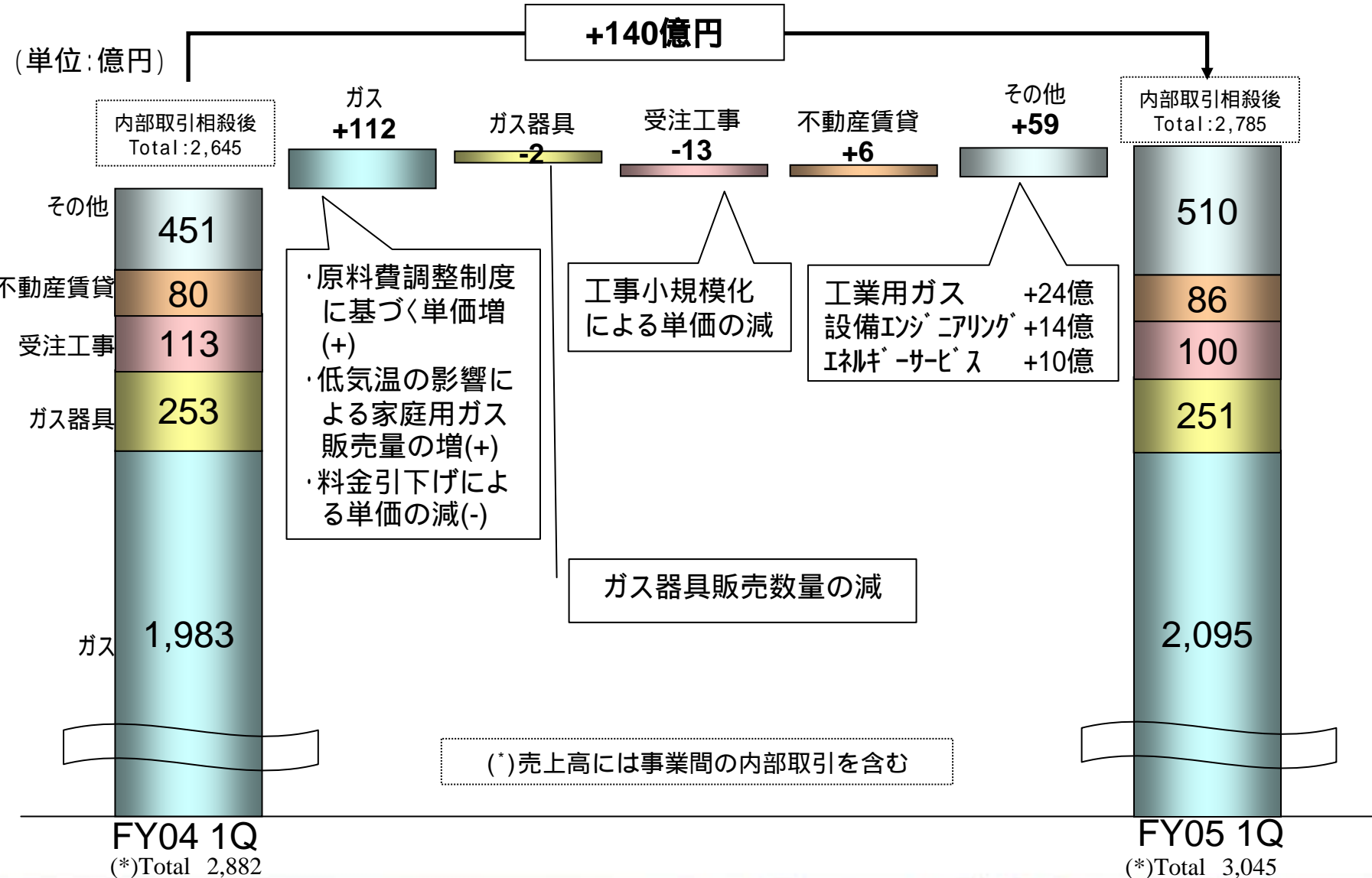
商業用その他 + 1.8% (+11百万m³)
・新規需要開発による増
・低気温による空調需要の減少

工業用 + 4.7% (+50百万m³)
・新規需要開発および既存物件の稼働増
・定期修理に伴う発電専用向け需要の減少

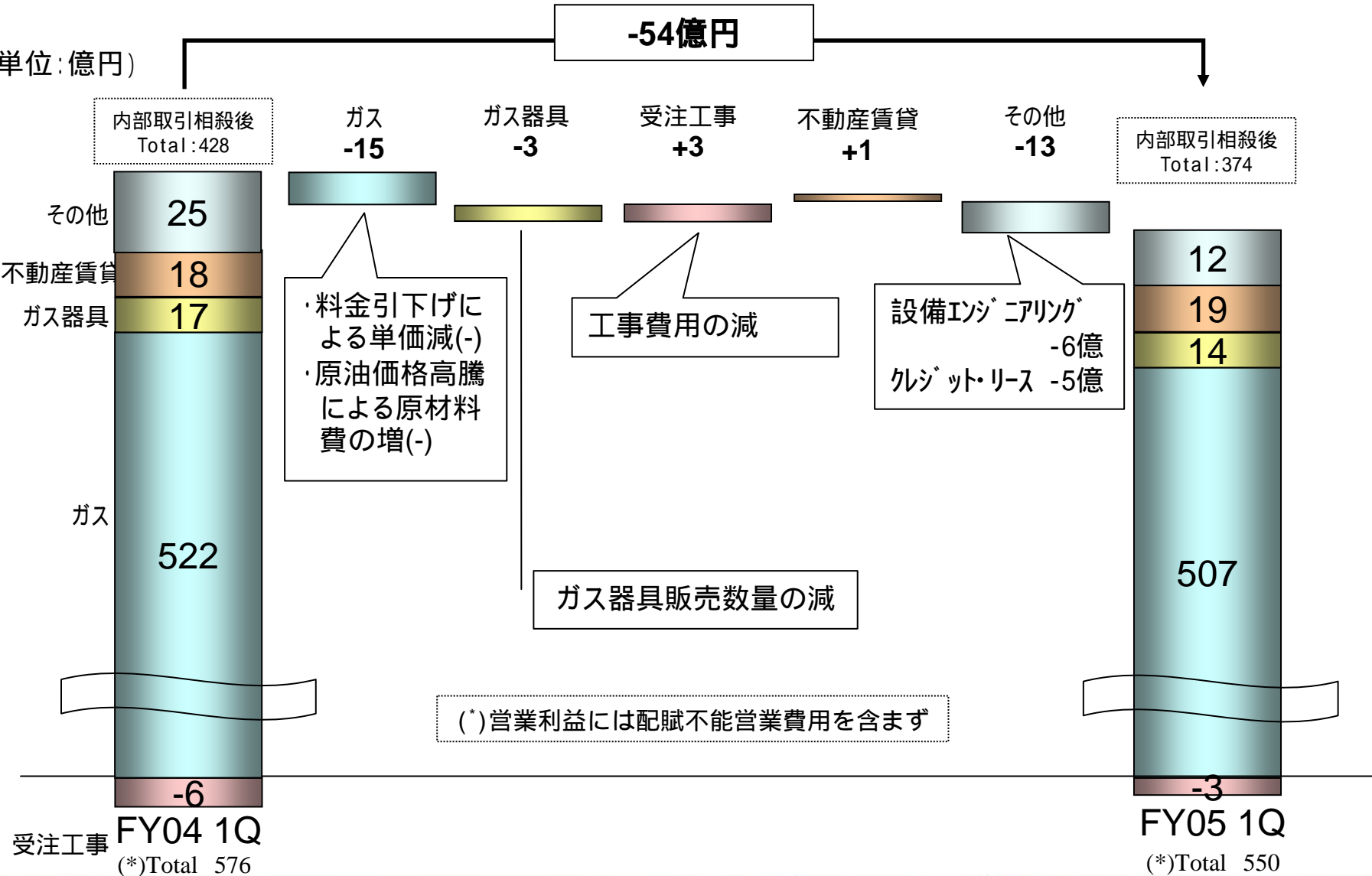
家庭用 + 7.0% (+56百万m³)
・低気温の影響による給湯需要の増加

(百万m³未満四捨五入)

売上高増減要因



営業利益増減要因

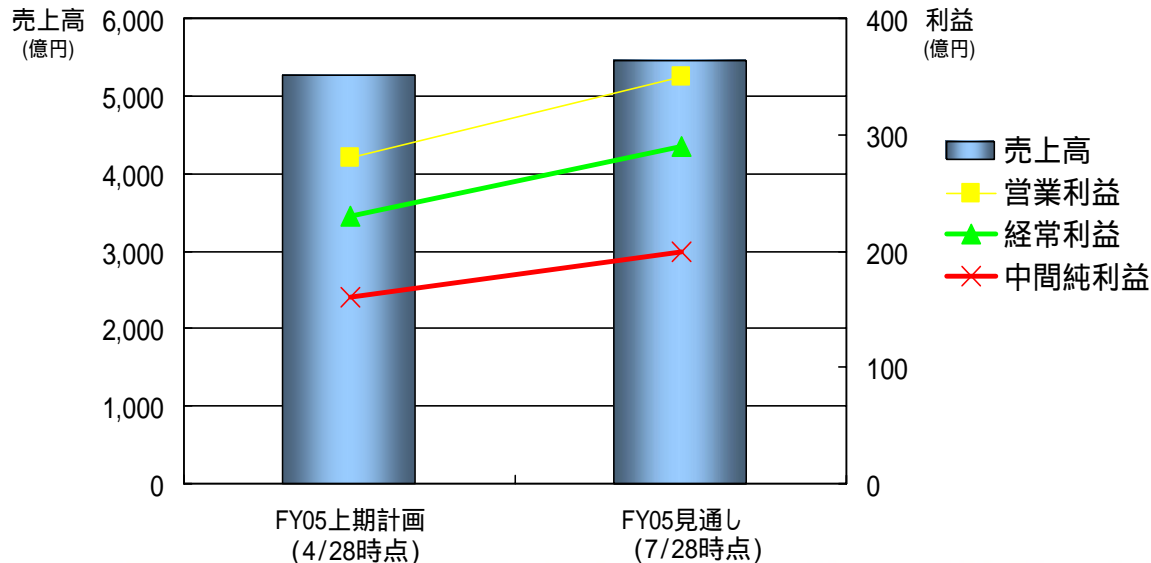


2005年度決算見通し (上期、対計画)

(億円未満切捨て)

	FY05上期計画 (4/28時点)	FY05上期見通し (7/28時点)	増減
売上高	5,270	5,460	+190 (+3.6%)
営業利益	280	345	+65 (+23.2%)
経常利益	230	290	+60 (+26.1%)
中間純利益	160	200	+40 (+25.0%)
原油価格(\$/bbl)	40.00	49.84	+9.84
為替(円/US\$)	105.00	108.85	+3.85

(注) 7月~9月を50\$/bbl、110円/\$の前提とおく



2005年度決算見通し (通期、対前年・計画)

(億円未満切捨て)

	FY04実績	FY05計画 (4/28時点)	FY05見通し (7/28時点)	増減	
				対前年	対計画
売上高	11,907	12,040	12,510	+603(+5.1%)	+470(+3.9%)
営業利益	1,453	1,140	1,130	-323(-22.3%)	-10(-0.9%)
経常利益	1,328	1,040	1,040	-288(-21.7%)	±0
当期純利益	840	680	680	-160(-19.1%)	±0
ガス販売量(百万m ³)	11,952	12,076	12,486	+534	+410
原油価格(\$/bbl)	38.77	38.00	49.92	+11.15	+11.92
為替(円/US\$)	107.55	105.00	109.42	+1.87	+4.42
気温()	17.1	17.0	16.8	-0.3	-0.2

(注) 7月～3月を50\$/bbl、110円/\$の前提とおく

